

2022(令和4) 年 度
自 2022(令和4)年 4月 1日
至 2023(令和5)年 3月31日

事 業 報 告 書

認定 特定非営利活動法人

北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

目 次

- I. 総会に対する社員(含理事)名簿
- II. 事業報告書
 - 1. 事業状況～概要、経過
 - 2. 教育実践、諸活動
 - 3. 組織及び執行体制
 - 4. 庶務に関する事項
 - 5. 各事業～定款項目別
- III. 決算書
 - 1. 活動決算書
 - 2. 財産目録
 - 3. 貸借対照表及び当期収支差額の処分
- IV. 監事の意見書
- V. 役員／体制(社員名簿、2023(令和5)年度事業方針・同予算)

2022(令和4)年度事業報告書 (2022(令和4)年4月1日～2023(令和5)年3月31日)

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

1. 事業の状況

【概要】 (骨子は従前記載、後半付記)

1998年夕張プレスカールの実践を受け'03年にNPO法人認証、以降は定款・設立趣意書に掲げた教育及び各分野活動を基本に、'07年度より新たな展開＝「既存学校法人との“協同＝教育連携”を開始(共育の森学園の再建支援)しました。また'09年度より地球温暖化に対応した《エコハウス》を推進し独自集会や他団体との共同企画を継続しています。

'10年度以降は実践を基盤に、'13年度/15周年行事・認定NPO法人取得、'14年/エコハウス道新エコ大賞奨励賞、'14-15年/『雪国札幌発ECO防災教室』実施&冊子発行、'17年度は20周年イベント・WAM助成モデル事業「つきさつぷり寺子屋」を展開、'18-19年度はスクール初等部拡充・WAM居場所事業継続に加えて、「自由な小学校運動」を各地集会で加速させ自治体交渉&協定書締結、'20以降はコロナ渦の中で、基本となるスクールと居場所事業を持続し、'21道審議会より「小学校認可の計画了承」'22「法人認可」を得て'23開校に到達しました(事業はNPOまおい学びのさと+学校法人により展開。本体NPOは現地と連携しつつ開校後の安定基盤形成・各種交流を促進)。年間の推移概要は以下の通り。

【第18年度の経過】 (敬称略)

2022(令和4)年、 3月:3/19「卒業・修業のつどい」《小2名、中6名卒業》、*講座「私たちのく基本的人権を問う！」

4月 「フロンティア 269号」:代表理事・吉野、『戦争と平和、戦争と人間～国会の暴力、軍事を越えて』
4/7:スクール新学期スタート、4/21:野幌森林公園、4/:特別行事・身体測定、*居場所継続
「フロンティア 270号」:和光会長・田中傳右衛門、「謙虚な自信について」、*夢みる小学校:各地上映

5月 余市農業実習(余市教育福祉村/畑借用) —5/11:中学生/畑起し、5/19:全員/苗植え
「フロンティア 271号」:監事・廿日岩ミサコ、「ロシアのウクライナ侵攻から3ヶ月余り」

6月 6/1:体育館～運動会、6/中:余市農業実習一草取り、支柱立てなど、6/8+:文教大学生実習、
特別行事(1日目～全員で平岡公園、2日目～初等・中学別企画)

7月 7/22 父母会、7/113-14:特別行事—余市農業実習、キャンプ・海水浴、*まおい集会/りんゆうホール
「フロンティア 272号」:吉野、「<へいわ>を導くための取り組み」
7/19:スクール終業+夏期講習(20～22) *7/27:FS等ワーク～市役所交渉、(～以降数回、+道教育委員会)

8月 8/24:スクール2学期スタート、
「フロンティア 273号」:学園長・大塚、「現在に生きる子ども達に、今こそ権利としての遊びと文化を！」

9月 9/01:余市農業実習(収穫作業)→食育(スクールでの昼食)、
9/21:日ハム食育教室+中央卸売市場、*インターン実習:2名

10月 「フロンティア 274号」:吉野、「教育実践25年、次のステップをどう」、*年末物販
10/07:さつぷろ子育て教育フェスターオンライン開催、*10/15明峰高校オープンスクール:3名引率
10/26-27:修学旅行《函館》、初等部は特別行事(プール銭湯・小樽/施設泊り会)

11月 「フロンティア 275号」:細田孝哉—NPO理事/まおい代表 *映画上映:道内各地続く
「多くの思いが小学校の結実～子ども達の笑顔溢れる学び舎がもうすぐここに」、*認可答申

12月 12/10:NPO理事会、12/19:スクール終業+冬期講習(20～22) *書籍「不登校とフリースクール/自由が丘紹介
12/15-16:特別企画～生徒授業・コンサート「ヴィブラホン・木いちご合唱・生徒発表」

令和5年1月 *1/8:講座追加企画「北海道の自然エネルギーの現状と課題」[道地域自治体問題研究所後援]
～北大工学部・NEPA理事長/山形定講師、1/18:スクール3学期スタート、2/4:年次説明会①
「フロンティア 276号」:常勤理事会、「市民立の学校、来春開校へ!認可を得てこれからは本番」

2月 2/1:北海学園大2名インターン実習始まる、2/13～16:学生実習:教育大札幌、4名+教官
「フロンティア 277号」:田中、「戦争と平和について～世界平和を願って」 *会費依頼

3月 3/4+5:父母会 3/2-3:学生実習:教育大釧路、4名 3/11:年次説明会②
3/18:3学期終業、3/19「卒業・修業のつどい」小2名、中6名卒業(それぞれ高校進学)

4月 4/10:23年度新学期スタート *4/10まおい学びのさと小学校:開校
「フロンティア 278号」:池内 省子—認定NPO法人社員
「子ども達が主人公の『卒業修業のつどい』を実感!」、*加藤多一さん追悼

2. 教育実践、諸活動

[分掌、運営]

1) 基本体制

*別紙「カリキュラム」他

- ◎NPO 本体 常勤役員4名/吉野、大塚、廿日岩(鈴木)、社員 名/滑川、奥村、尾田、齋藤、川島(引木)
- ◎スクール 学園長：大塚～全般・中学、奥村～初等全般、滑川・齋藤～教科、行事、他
- ◎GAOKA 塾 責任：大塚、滑川…4月現在：中学1名、高校1名、スクール生徒2名、◎事務 尾田(+廿日岩)
- ◎ボランティア 社会人、学生、留学生・・・主に初等部に複数(有償型)～尾田、小林、油谷、他

2) カリキュラム&担当

- <学科> <総合型>
- ◎日本語：大塚、尾田、◎地球に生きる科：大塚 ◎表現科、◎もの作り：齋藤、
- ◎数 学：大塚、奥村、◎人間科、ワクワク学習：吉野+ゲスト/細田、吉田、他
- ◎社 会：滑川/歴史、◎やってみる科：滑川他 *初等部：プロジェクト各種、新規：小川
- ◎理 科：大塚、滑川、+油谷、◎英語：大塚+留学生 ◎体育：全員 ◎各種行事：常勤+サポーター

3) 学期(末)対応

- ・月次 学校：出欠案内。期末：通知表「成長の記録」：記述A4 記述3～5枚。年度：「記念作品」制作など

4) 付加、関連業務

- ◎IT～HP 管理/：山田、齋藤 ・環境設定、パソコン保守：(アールズサポート/寺下)、機器更新：W-7.8.10+内部XP
- ◎事務所維持(清掃、台所、外周他) ・冬季対応～暖房/パレットストブ、水道(冬季)、省エネ/各階、除雪)
- ◎助成 1)札幌市：付加スタッフ・体験メニュー、2)サポート団体「ひまわり基金」：居場所、3)募金会：普及、4)他：イベント

[普及、協同]

1) 普及活動

- ◎普及全般 年次パンフ：スクール2種、NPO版+「初等・中学」チラシ～通信折込み・集会配布、伊ノ3店舗・エルプラザ公民館
- ◎相談会等 「月次」企画：ホームページ、建物掲示板など、チラシ～上記同様+地域連携団体
- <居場所> 児童向け「みんなのお家」：月次2回、通算21回、参加延べ117名～児童70名/高校生中心
父母向け「親子カフェ」： ↓ 、 // 23回、 // 143名～父母53組/相談員配置
- ◎イベント ◆道民教：[札幌集会～個別対応]、(→以前は、不登校分科会・合研・親の会・*コロナ渦)
- <外部> ◆さっぽろ子育て教育フェスタ：[毎年10月、実行委員会方式、展示・分科会運営→「報告集」]
◆社会教育フォーラム：[(北大社会教育研究室) *韓国ブルム学校接点、弘前大/宋他
- ◎通信発行 No.261-270号～年次8回、会員400名弱+エルプラザ等配架、郵送/郵便局契約(値上+持込)+手渡し

2) 大学、教育機関連携

- ◎実習受入れ ・教育大釧路/教育内容方法研究室：従来年4回 ⇒年1回12月。 *2力年年中止⇒23.3/再開
・ ↓ 札幌校/池田研究室：2-3月、学生4名により4日間。3年継続中
・ 文教大人間科学部/吉岡研究室、5-6月学生3-10名規模。
・ インターン学生～秋季2名/小樽商科大・学園大、春季2名/学園大、
- ◎共育の森学園 吉野・田中理事、(間宮理事長)～継続中。高校生確保「76名規模」(看護学校譲渡完了)
<政策テーマ> ・自由が丘推薦の高校進学～H25/3、H26、H27/1、H28/1、H29/1、H30/0、・・・R3/1、R4/0
・旧短大=2千坪施設活用法模索～現在テナント、随時地域スポーツ貸出し・

2) 他団体 [都度調整]

- NEPA 新エネ協-普及促進協会：、Y賛助会員、エコハウス(+まおい)⇒ニュースター寄稿 [NERC/コンサル：Y相談役]
<23年> 3月Zoom会合～パネラー参加/自由が丘の歩み・新しい学校設立・エコハウス展開など紹介
- 余市教育福祉村：農場利用・Y顧問～現地の体制/高齢化・後継不明・財政逼迫・利活用の再検討
<23年> 農業/野菜 5-9月～耕起・施肥～畝たて・苗上～除草・水遣り・支柱～収穫⇒食育へ
*生徒移動/車両工夫、交替実習、地域接点・・・ *「教育による地域活性可能性」？、
- 地域・自治体問題研究所：(河野理事長)Y理事、 *教育/共通テーマでの講座・分科会企画
<22年> 昨年度講座「私たちの〈基本的人権〉を問う！」隔月5回開催：ジェンダー、学習権、アイヌ、交通権・・・
<23年> 調整中、仮題「現代社会と子どもの権利～自治体の役割」～権利条約の今、3回程度、
(案) 1 6-7月 「今、子どもの権利は？ 日本、北海道 研究者/東海大、
2 7-8月 「私たちの考える権利条例、子育て支援、現場レポート/教育、福祉、医療・・・
3 8-9月 「子どもの権利と自治体の役割」 北広島、石狩、札幌、芽室、幕別、奈井江、滝川

【特記/再掲】【「エコハウス」の取り組み】 【再掲】

2010：北海道「グリーン・ビズ事業所」認定、2012：札幌市環境賞「優秀賞」受賞、
2014：北海道新聞エコ大賞「奨励賞」受賞、*〔道環境教育学会～経由〕月刊「工業教育3月号」寄稿
2014-15：さっぽろ発「ECO エネルギーで防災教室」11.2月2回実施、北大・天使大の教官協力

- ◆2011.3/11 原発事故以後、自然エネルギー導入が大事な社会テーマ。加えて脱原発は環境保全&地域再生の21世紀的課題。
 - ・視点① 北海道の条件～一次産業・地域振興と結合したフロンティアへ ==> 自由が丘；都会での“先進基地”
 - ・↓ ② 泊・大間原発～活断層・プルトニウム・温排水・廃棄物+受入調査自治体 => 停止、廃棄への可能な接点・連携
- ◆自由が丘センターの現状 注：自家発電はまず建物消費 → 余剰分は売電(不足は買電:コブ電力切替)
 - ・【ソーラーパネル】 → 小さいけれど市民発電所、電気約50-60%削減+省エネ/生徒パネ。ローン14年完済
 - ・【ペレットストーブ】 → 冬季暖房の環境負荷低減中、バイオマス資源の地産地消推進 苫小牧メーカ
 - *トータルCO2約▲60-70%、引続き環境教育や地域＝サテライト促進。～HP、市民講座、研究機関連携へ
 - ・【照明LED化】 → 蛍光管約90%LED=従来機器寿命・省エネ⇒電気代△80%・15年保証・×虫・×破損

◇今後、将来展望

- *長野、宮城など各地取り組みあり～公共・民間施設屋上発電、協同組合化
- *ドイツは本年4/15で原発停止、約50%は再生可能エネルギー、(他方、フィンランド原発新稼働)
 - ・100%自然エネルギーの施設 ⇒ 追加的ソーラーパネル導入、雨水利用、(屋上)緑化、省エネ・
 - ・暖房・発電の市民ファンド展開 ⇒ 市民からの基金蓄積→導入施設募集/教育文化団体→融資/回収
- *夕張の土地/転用可能性・・・

3. 組織及び運営・執行について

【概要】

基本となる教育実践・普及活動・エコハウス推進、他団体連携等により、自由が丘理念の具現化に努めてきました。通常は月寒スクールを基盤に、「子ども達が学び・成長する主体」の学び舎・運営を持続しながら、週末型の地域居場所＝寺子屋/お家・実家/カフェ展開も自力型で継続しました。(⇒ 初等部生徒20規模、居場所は各20.25回ほど開催)
普及活動ではコロナ渦で教育集会等の企画開催や参加を抑制しながらも、自由が丘の“創立時精神”再度掲げた『新たな小学校設立運動』発信連携し、認可/開校に至りました。組織面では13年『認定NPO法人』認可、5年後の18年更新、他方で助成事業受託は厳しくなっています。(寄付特典/還付で財務プラス反映という大きな成果につなげる作業は先送り)

(1) 会員の推移

- 1)正会員：会費を、個人5,000円・団体50,000円納入。役員10(21年11)、社員11(19)、下記は納入者。
 - ①役員：10名(監事含、過年納入含) ②社員：8名(2名新規) ③法人：7団体中、継続6団体
 - 和光(2回)、秀岳荘(2回)、岡本建設、知床第一ホテル、幌村建設、りんゆう観光、 小計 24名・社
- 2)賛助会員：会費を、④個人3,000円、⑤法人20,000円納入
 - ④個人「162」 ⑤法人「3」(株新倉屋/2万、弁護士事務所他、小計165名・社、 ①-⑤合計：189名・社
- 3)寄金⑥：会費+加算納入：納入+2000～7,000円以上など～大口/幌村、金井、他 小計：(60)名
*現状は2)扱い、希望により1)の②へ転換。 *前年は2)・193名、①～⑤計217名、卒業父母・区切り退会。

(2) 会員の構成、拡充

- 1)正会員 ・役員社員～元発起人、会員有志、理事紹介、スクールスタッフ等。
- 2)賛助 〃 ・通信購読～スクール父母、教育関係者等(居場所関係者)。*他方、逝去や「高齢者」区切り申し出・・・

(3) 執行体制

- ◎役員(敬称略) ・代表理事 2名、理事9→9名、監事2→2名、内訳：代表/吉野・大塚、副代表/田中(非常勤)、
・執行部：代表理事、分掌理事、常勤スタッフ、 ↓：監事/吉田・廿日岩、
- ◎基幹会議 ・勤務員会議：事務局メンバー週次 (常勤) スタッフ会議；月・金曜 月次スタッフ会議/月末
・その他会議：学期区切り研修付加。ボランティア＝パートスタッフとの情報共有。

4. 庶務に関する事項

- 1) 北海道庁(監督官庁)等への申請など
 - ・2021年 5月、総会承認事項、所管/札幌市(+登記手続きはなし)。認定NPO法人/別書類一式
- 2) 第1回理事会：2022年05月21日開催(総会時)【出席】8(含監事2、委任状1/法人含)、スタッフ/社員同席
- 3) 第2回理事会：2022年12月10日開催(研修兼)【出席】9(〃 2、〃 2)、スタッフ/社員同席

5. 各事業：定款活動分野による記載。(前記年次報告とほぼ重複)

第1/子ども・青年の教育機会提供・支援、第2/各種研修企画、第3/教育相談、第4/協同交流、第5/広報・出版活動。

1) 学習活動への援助：各スクールの授業・行事の企画提案、運営、参加。

- ・スタッフ支援；教科担当など約3～5名分をサポート。特に初等部門+教科。他に団体や講師受け入れ対応等
- ・学生受け入れ：実習～教育大釧路/3年振り実施(通算103回)、他大学等/北大・文教大・教育大札幌校。*インター受け入れ

2) 教育推進者支援：スタッフと役員など支援者・推進者向け研修。

- ・役員、スタッフ研修会開催；学期 or 半期単位、(独自企画、共催講座参加)・理事会併催；新しい小学校運動
- ・(一般向け)教育研修開催；(教師塾授業検討会～教育大/各1回)、寺子屋研修会/年数回～講座案内、

3) 教育相談：月次案内、個別相談受け入れ。専門家連携。

- ・年次説明会開催；2.3月。月次相談会；各2回+体験会、個別；随時電話等の相談対応。見学日；隔週水曜
- ・案内；月次/ホームページ、チラシ(配布先下記6))、建物掲示板 *進路指導～高校情報(+OM等見学引率)

4) 協同交流活動：他団体/集会の事務局対応・役員引受(+独自企画)。

- ・(教育)集会の運営分担・レポート；札幌子育てフェス/実行委員(事務局)、月寒九条の会/世話人、つきさつぷP/メンバー
- ・民間連携；余市教育福祉村/顧問、道地域・自治体問題研究所/理事、共育の森学園/理事、(地域婦人・科学者・商工)

5) 研究・講座等：(研究所包括テーマ)

- ・実践記録を通信等に紹介；教育大授業レポート、教育エッセイ、発達支援報告、 *独自事業：自然エネルギー普及「エコハウス」
- ・ブックレット：北海道発教育提言 No.1-11+「雪国 ECO 防災教室」。 *通信「巻頭言等編集＝普及用」検討

6) 広報・他：

- ・「通信」定期発行：年次9-10回、活動支援グッズ＝物販/春夏冬、ホームページ更新：新スタイル発信/父母協力実践ページ
- ・独自パンフ等：年次作成、エアー配布/地域団体折込み、エブリラサ＝市民活動センター・イノ店舗/常設。*公的助成/市他

【25周年企画】前半報告～コロナ禍もあり、一部実施。他は後年検討事項。

- ◎ 教育実践の節目＝四半世紀として、「教育活動+普及活動+まおい連携」等を企画できれば。
- ◎ コロナ収束具合を鑑みながら、いくつかの組み立ての中でそれぞれの当事者/関係者が参加共有できるもの。
 - ==> 自前) 音楽コンサート：冬/ヴィブラホン演奏+合唱サークル「木いちご」+生徒発表
 - 「生徒からの手形」：25年記念のモニュメント～3階展示中
 - 「実践25年とこれから」：通信275号11月号巻頭言
 - 共催) 講座「私たちの基本的人権を問う！」：北海道地域・自治体問題研究所/河野理事長
 - 隔月5回開催、各15-20名参加～教育・ジェンダー・交通権・エネルギー・少数民族等
- ◎ 新しい(教育)小学校開校にむけての大イベントを地域社会に発信。
 - [NPOまおい学びのさと：22方針より] => 6・11月に「北海道に自由な教育をセミナー」を検討。
 - ==> 協賛) 映画「夢みる小学校」上映会、3/5旧北長沼小学校体育館、240名参加

<当初案から>

主体・名称	<参加対象、趣旨など>	概要	今後など
(1) スクール：学園祭	地元住民・会員・生徒父母向け	売店、展示、発表、バザー…	=> 23秋検討
(2) NPO：集会	A) 記念講演～学識者 or 当方、B) まおいイベント～現地		=> (まおい調整)
(3) ()：総合学習	①00体験～自然&生活を…トムソーヤ助成で初等+α ②□□↓ ～もの作り&地域…	夢奇金助成で中学生+α =>	↓
(4) 研究所：書籍	「記念誌」発刊 ～従来フロンティア記事/PR型冊子か		=> 費用vs効果検討
(5) その他：資金形成	クラファン/レディフォーよりの「提案書」を受けて…		=> < >

注：民間助成は採択厳しく、当分『初等部確立』方針遂行に集中 *「教育機会確保法」～行政交渉、他FS連携

財産目録

2022(令和4)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2023(令和5)年3月31日

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	145,776		
預金	4,820,844		北洋銀行 4,431,984、労金 103,093、 郵貯銀行 285,767
流動資産計		4,966,620	
2 固定資産			
備品等償却資産	5,000		'22・5万償却
固定資産計		5,000	
資産合計		4,971,620	
II 負債の部			
1 流動負債			
繰越収支差額			
前受金	1,186,000		'23年度会費
短期借入金	520,000		
出資信託金	890,000		
預り金	210,449		
流動負債計		2,806,449	
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計		2,806,449	
差引正味財産		2,165,171	

貸借対照表

2022(令和4)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2023(令和5)年3月31日

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

単位:円

科目・摘要	決算額			備考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	145,776			
預金	4,820,844			北洋銀行 4,431,984、労金 103,093、 郵貯銀行 285,767
流動資産計		4,966,620		
2 固定資産				'22・5万償却
備品等		5,000		
固定資産計		5,000		
資産合計			4,971,620	
II 負債の部				
1 流動負債				
前受金	1,186,000			'23年度会費
短期借入金	520,000			
出資信託金	890,000			
預り金	210,449			
流動負債計			2,806,449	
2 固定負債				
固定負債計				
負債合計			2,806,449	
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産	1,804,678			
当期正味財産増加額	360,493			
正味財産合計	2,165,171			

注: 個別寄附(法人・個人大口)はまおい学びのさと小学校に関連。本NPO収入とし、学校法人へは別対応/支援。
尚、過年度の寄贈(遺産指定等)は多くを持ち越しとして、来年度の事業拡充に備えていきます。
事務所代は通期4-3月分納入。電気代の値上げに伴う公的助成も支払う。(短期借入は繰越継続)

3. 当期収支差額の処分

当期収支差額 2,165,171円は、次期繰越とする。

2022(令和4)年度 活動計算書

2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日まで

認定 特定非営利活動法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

科目	予算	金額	小計	部門計	前年
I 経常収益				[概要]1.2.4.5は約430万(助成除)	～以下前年明細
1.受取会費	1,345,000		1,027,000		1,168,000
正会員受取会費	545,000	485,000		個19→17、法6(2口・2社/W・S)	420,000
賛助会員受取会費	800,000	542,000		個162(前193)法3(前6)	748,000
2.受取寄付金			3,057,950		1,678,356
受取寄付金	500,000	3,057,950		60:1法人100、1個人100他	1,678,356
施設等受入評価益					
3.受取助成金等	4,250,000		0		
受取各種助成金		2,693,000	2,693,000	市240、市サホ ²⁰ 、衛生/未納	2,640,504
4.事業収益	150,000		23,600	* WAM助成等なし	
各種事業収益		23,600		居場所1.18、体験等	89,440
5.その他収益	200,000		178,869		
受取利息					
雑収益		178,869			892,700
経常収益 合計	6,445,000	6,980,419		* 前年比: +50万	6,469,000
前受金			1,186,000		→[前年度1,342,500]
II 経常費用					[前年]
1.事業費	4,650,000			* 事業費率88%	～事業費明細
(1)人件費					(その他経費計迄)
給与手当		780,000		厚生舎	780,000
法定福利		8,985		通常+市助成分	16,395
雑給与他		2,892,700		* 前年比: +50、サホ ²⁰ 付加	2,381,600
人件費計		3,681,685	3,681,685	⇒生徒増加に対応	3,177,995
(2)その他経費				見学、行事、余市農業、実習	424,206
体験/農業アウトドア、学生		548,820		教科体験、一部上記計上	5,609
体験研修/学生実習等		71,974		事務所4-3月分、月次5万案分	420,000
賃借料		420,000		事務関係は管理費、備品等	68,434
事務用品、印刷、消耗費		168,956		カウンセ42万、他	490,000
会議会場、支払報酬		735,000		交通、車両	186,695
車両、交通費		191,350		ソーラーパネル	100,000
減価償却費		50,000		図書、諸会費、他	104,800
保険、備品他		770		* 前年比: +40万	36,712
図書諸会費雑費		15,758		* 予算費+120万、前年+80万	1,836,456
その他経費計		2,202,628			[前年計5,014,451]
事業費 中計		5,884,313	5,884,313		
2.管理費	1,470,000			* 管理費率12%	[前年]
(1)人件費					～管理費明細
給与手当		0			0
雑給与		0			0
福利厚生		0			0
人件費計		0			0
(2)その他経費				会報送:再値上+持込、	223,938
通信費		224,092		事務所按18万	258,000
賃借料		180,000		事務用品、	114,200
事務用品費		65,375		団体加入会費、図書	0
図書諸会費		18,500		居場所(昨年賃貸で計上)	0
支払報酬、居場所等		96,000		振込み	33,301
支払手数料		23,516		消耗2・保険、光熱10/市分振	6,770
雑費他		128,176			636,209
その他経費計		735,659		* 前年比+10万	[前年計636,209]
管理費 中計		735,659	735,659		
経常費用 合計	(614万～)		6,619,972		[前年合計5,650,660]
当期経常増減額				360,447	[前年P/L: 1,329,759]
III 経常外収益		46		金利46、	
1.経常外収益 計			46		[前年18]
IV 経常外費用	(予備等10万)				
1.経常外費用 計			0		
当期正味財産増減額				360,493	[前年: 818,358]
前期繰越正味財産額				1,804,678	[前年: 986,320]
次期繰越正味財産額				2,165,171	[前年: 1,804,678]
(前受金)			1,186,000	* 前期借受/当期収入に相当	